

学校教育自己診断結果データ分析（令和6年度）

1. 自己診断配付数及び回答数

令和6年度回答人数

	校長	教員	生徒	保護者	合計
配付	1	71	1063	1063	2198
回答	1	71	1004	527	1603
%	100	100	94.4	49.6	72.9

2. 観点別肯定的回答割合

	R6年度	R5年度	R4年度
【保護者】	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校に対する意識に関するもの	86.3	87.2	85.9
②学習指導に関するもの	69.9	72.3	61.0
③生徒指導、児童・生徒理解に関するもの	85.3	85.4	91.1
④進路指導に関するもの	85.7	86.5	87.0
⑤いじめに関するもの	86.5	87.6	89.3
⑥道徳教育・人権教育に関するもの	86.3	89.8	89.8
⑦情報提供に関するもの	81.4	84.8	87.5
⑧学校教育への参画に関するもの	93.9	93.9	86.3
【生徒】	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校に対する意識に関するもの	88.0	88.9	87.9
②生徒指導に関するもの	85.5	86.0	85.2
③進路指導に関するもの	97.0	95.0	94.3
④いじめに関するもの	96.2	95.0	92.6
⑤教育相談に関するもの	73.7	70.2	55.2
⑥道徳教育・人権教育に関するもの	86.5	83.4	82.5
⑦特別活動、学校行事等に関するもの	97.4	95.1	94.0
⑧学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。	94.6	88.3	80.3
【教員】	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校組織に関するもの	94.4	88.7	84.8
②教育活動の改善に関するもの	81.7	88.7	78.5
③生徒指導に関するもの	88.7	83.9	74.7
④進路指導に関するもの	91.5	85.6	87.3
⑤いじめに関するもの	93.0	93.5	93.7
⑥教育相談に関するもの	87.3	93.5	86.1
⑦特別活動、学校行事等に関するもの	93.0	90.3	84.8
⑧保護者への情報提供に関するもの	91.5	87.1	83.5

3. 分析

【学習指導】生徒の「授業内容は自分の学習や発達に役立っている」は94% [93%]、保護者は「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」72% [78%]、教職員は「教員間で授業方法等について検討する機会を積極的に持っている」は89% [87%]であった。生徒の「質問に丁寧に教えてもらえる」97% [96%]「学習意欲が向上する講演・行事がある」80% [75%]も上昇している。今年度は校内での授業見学期間を2回設けたほか、授業力向上のための教員研修も実施した。今後も生徒の学力向上及び生徒・保護者の満足につながる取組みを行ってまいりたい。

【進路指導】生徒の「将来の進路や生き方について考える機会がある」97% [95%]、保護者の「進路について適切な指導を行っている」86% [87%]、教職員の「生徒一人ひとりの進路選択にきめ細かい指導を行っている」は92% [86%]と高い水準であった。次年度も、さらなる情報提供・連携に努め、生徒・保護者の進路希望を叶えるよう努めていく。

【生徒指導】保護者の「生徒指導の方針に共感できる」は85% [85%]、生徒の「先生の指導には納得できる」は86% [86%]、教職員の「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」は89% [84%]であった。いじめへの対応の肯定的評価は生徒96% [95%] 保護者87% [88%] 教職員93% [94%]も依然として高い。次年度以降も引き続き生徒の声を受け止め、主体性を育てる生徒指導を行っていく。

【学校運営】上記のほか、GLHSとして力を入れている課題研究に関しては、生徒は「授業で考えをまとめたり発表する機会がある」94% [89%]「課題研究・フィールドワーク・研修旅行は学力育成に役立っている」87% [78%]、教職員は「課題研究は生徒の意欲向上に寄与」理科82% [77%] 文科83% [79%]という結果であった。また、本校の学校行事に関しては、生徒は「文化祭・体育大会・修学旅行等の学校行事は楽しく工夫されている」97% [95%]「ホームルーム活動や行事にクラス全体で取り組んでいる」97% [95%]、保護者は「子どもは学校行事に積極的」93% [95%]、教職員は「学校行事が生徒にとって魅力あるよう工夫・改善している」93% [90%]と、非常に肯定率が高いことも特徴である。生徒の「豊中高校に入学してよかった」は92% [92%]、この肯定率が100%に近づくよう、今後も本校の特長的な活動を大切に、学校の魅力を発信していきたい。